

花めぐり

牧野公園
Hanameguri

四季折々の山野草を求めて。

MAKINO PARK

佐川町役場

〒789-1292
高知県高岡郡佐川町甲1650番地2
TEL▶0889-22-7700(代)
FAX▶0889-22-1119
<http://www.town.sakawa.lg.jp>

さかわ観光協会

〒789-1201
高知県高岡郡佐川町甲1472番地1
TEL▶0889-20-9500
FAX▶0889-20-9501
<http://sakawa-kankou.jp>



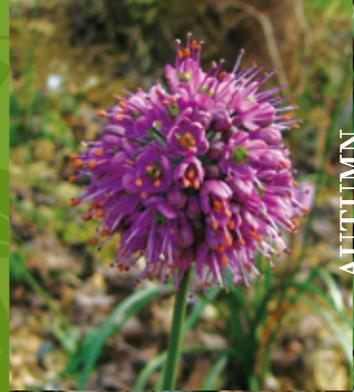
EARLY SPRING



SPRING



SUMMER



AUTUMN



WINTER



花めぐり

牧野公園
Hanameguri

四季折々の山野草を求めて。



MAKINO PARK

佐川のまちを一望できる牧野公園は、昔から桜で親しまれ、「日本さくら名所100選」にも選ばれました。そして今、四季折々の山野草も加わり、一年を通して豊かな表情が楽しめる公園となりました。



はじまりはソメイヨシノの苗木から

牧野公園は、明治35(1902)年、植物学者である牧野富太郎が東京より「ソメイヨシノ」の苗を佐川町に送り、その後、地元の有志たちが青源寺の土手などに植えたことにはじまります。当時はまだ「牧野公園」ではなく、「奥の土居」と呼ばれていました。

大正初期、将来の桜郷を夢に描いた町民の手によって、奥の土居をはじめとした町内のいたるところにソメイヨシノの苗木が植えられました。大正末期から昭和10年代にかけてそれらの桜は見頃を迎え、最盛期には大人数の観桜客で賑わいました。

しかし、その後の太平洋戦争により、愛情をもって育成された桜も食料増産の犠牲となり、奥の土居も開墾地とするため全ての桜が伐採されてしまいます。

昭和31(1956)年、戦後荒廃した奥の土居をもう一度甦らそうと動き出したのが、商工会を中心とした地元の人々でした。1000本以上の桜苗を植え、奥の土居の桜復活に取り組み始めます。そして、同年12月には牧野富太郎博士が佐川町

名誉町民となりましたが、翌昭和32(1957)年1月に96歳で永眠しました。またその年に佐川町が奥の土居の土地を購入、この土地は昭和33(1958)年に「牧野公園」と名付けられ、牧野博士の分骨が埋葬されました。
さらに、遊覧道路の整備も始まり、昭和35(1960)年、ついに牧野公園が落成、昭和40年代以降には復活させた桜が再び最盛期を迎えます。
平成2(1990)年には高知を代表する桜の名所の1つとして、日本のさくら名所100選にも選ばれました。



牧野公園リニューアル事業

桜が再び老木となったことから、平成20(2008)年より桜の再生事業を開始し、さらに牧野博士にちなんだ四季折々の山野草も楽しめる公園にしようと、新たに平成26(2014)年度より10カ年計画のリニューアル事業に取り組んでいます。これは、佐川町がリストアップした「牧野博士ゆかりの植物」を中心に購入に頼らず、地域住民が種から育てた苗を植栽していく「みんなで育てる牧野公園」にしようというものです。

長い歴史の中、佐川町民とともに歩んできたこの牧野公園が、これからも多くの人々に愛され、ともに歩いていく公園となることを目指しています。



花と恋した日本植物学の父

牧野富太郎

Tomitaro Makino



後に、「日本植物学の父」と称された植物学者・牧野富太郎博士が産声をあげたのは、文久2(1862)年4月24日、かの坂本龍馬が土佐を脱藩して一ヶ月後のことでした。

土佐国高岡郡佐川本村(現在の佐川町)に、父・佐平、母・久寿のもと誕生。生家は酒造業と雑貨商を営む裕福な商家でしたが、幼くして両親を亡くし、祖母の手で育てられました。

豊かな自然環境の中で育った富太郎少年は、幼い頃から植物に興味を持ち、小学校を2年で退学するも、植物採集をしたり、書物で植物の名前を覚えたりと、独学で植物学の研究を続けました。

23歳で東京。東京大学理学部植物学教室への出入りを特別に許され、以後、東京と高知をたびたび行き来しながら植物分類学の研究に打ち込みます。

26歳のとき、友人と『植物学雑誌』を創刊。その2年後、同誌上に共著で記載したヤマトグサは日本国内での最初の新種発表でした。

96年の生涯において収集した標本は約40万枚。新種や新品種など約1500種類以上の植物を命名し、日本植物

分類学の基礎を築いた一人として知られています。

成功を収めてからも、牧野博士はたびたび帰郷し、故郷への思いを生涯持ち続けました。あまり知られてはいませんが、故郷への功績として明治21(1888)年には、郷里の子どもたちの文化向上や科学教育の普及をはかるため、「佐川理学会」を創設。自らも指導にあたるほど、熱心に取り組みしました。

明治35(1902)年、佐川に送ったソメイヨシノの苗木は、桜の名所となり、多くの人の目を惹かせています。春の訪れをつける愛らしい花、バイオウレンは、晩年東京で暮らした牧野博士にとって、故郷を思わせる懐かしい花でした。いまま生家の裏山にたくさん自生しています。



© 高知県立 牧野植物園

牧野博士の写生画



愛用したイギリスの絵の具 ウィンサー&ニュートン社製



解剖顕微鏡

公園内の希少種

『高知県レッドリスト(植物編) 2010年改訂版』より



オキナグサ
翁草 / キンボウゲ科
Pulsatilla cernua (Thunb.)
Berchtold et J.Presl



ガンゼキラン
岩石蘭 / ラン科
Phaius flavus (Blume) Lindl.



ジョウロウホトトギス
上臈杜鵑草 / ユリ科
Tricyrtis macrantha Maxim.



ヒメユリ(トサヒメユリ)
姫百合 / ユリ科
Lilium buschianum Lodd.(ヒメユリ)



ベニバナヤマシャクヤク
紅花山芍薬 / ボタン科
Paeonia obovata Maxim.



ムラサキ
紫 / ムラサキ科
Lithospermum erythrorhizon
Siebold et Zucc.



テバコマンテマ
手箱まんでま / ナデシコ科
Silene yanoei Makino



ヒナシャジン
雛沙参 / キキョウ科
Adenophora maximowicziana
Makino



ヒメノボタン
姫野牡丹 / ノボタン科
Osbeckia chinensis L.



フクリンササユリ
覆輪笹百合 / ユリ科
Lilium japonicum var. albomarginatum
Makino



ムカデラン
蜈蚣蘭 / ラン科
Pelatantheria scolopendrifolia (Makino)
Aver.



キレンゲショウマ
黄蓮華升麻 / ユキノシタ科
Kirengeshoma palmata Yatabe



スズムシバナ
鈴虫花 / キツネノマゴ科
Strobilanthes oligantha Miq.



フウラン
風蘭 / ラン科
Neofinetia falcata (Thunb.) Hu



サカワサイシン
佐川細辛 / ウマノスズクサ科
Asarum sakawanum Makino



タキユリ
滝百合 / ユリ科
Lilium speciosum Thunb. var. clivorum
S.Abe et T.Tamura

■ 絶滅危惧IA類 … ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高い種

■ 絶滅危惧II類 … 絶滅の危険が増大している種

■ 絶滅危惧IB類 … IA類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高い種

■ 準絶滅危惧 … 存続基盤が脆弱な種

牧野公園の桜

Cherry Blossoms in Makino Park

牧野博士は桜がとても好きだったことでも知られています。
牧野公園ではソメイヨシノをはじめ、牧野博士の命名した桜など、
さまざまな種類の桜がより長い間楽しめるようになっています。



熱海寒桜
アタミカンザクラ
2月上旬～下旬



河津桜
カワヅザクラ
2月下旬～3月中旬



椿寒桜
ツバキカンザクラ
3月上旬～中旬



淡墨桜
ウスズミザクラ
3月中旬～下旬



陽光
ヨウコウ
3月中旬～下旬



大島桜
オオシマザクラ
3月下旬～4月上旬



夙川舞桜
シュクガワマイザクラ
3月下旬～4月上旬



神代曙
ジンダイアケボノ
3月下旬～4月上旬



仙台屋
センダイヤ
3月下旬～4月上旬



染井吉野
ソメイヨシノ
3月下旬～4月上旬



紅枝垂
ベニシダレ
3月下旬～4月上旬



八重紅枝垂
ヤエベニシダレ
3月下旬～4月上旬



山桜
ヤマザクラ
3月下旬～4月上旬



稚木の桜
ワカキノサクラ
3月下旬～4月上旬



御殿場桜
ゴテンバザクラ
3月下旬～4月中旬



松月
ショウゲツ
4月上旬～中旬



蘭蘭
ランラン
4月上旬～中旬

3月~5月



春

Plants of MAKINO PARK
in Spring

園内各所で
見られます!



ヤマシャクヤク 4月
ベニバナヤマシャクヤク 5月



ガンゼキラン 5~6月
コショウノキ 2~3月



ショウジョウバカマ 4月



ハルリンドウ 3~4月



シャガ 4月



ミツマタ 3月



ヒトリシズカ 3~4月
ユキモチソウ 4月



ムサシアブミ 3~5月
アオテンナンショウ 5月



コガクウツギ 5月



コンロンソウ 4~5月



ヒボスマレ 3~4月



ウマノアシガタ 4~5月



トサミズキ 3月



ナンジャモンジャ 4月下旬~5月



イヨカズラ 5~6月



サカワサイシン 4~6月



サクラソウ 4月



ナニワイバラ 5月



ドウダンツツジ 4月



オンツツジ 4月



シハイスミレ 3~4月



コバノミツツジ 3月中旬~4月



タチツボスマレ 3~4月



セントウソウ 2~4月



オキナグサ(花・種) 4~5月



ヤマリリソウ 3~4月



オオスマソウ 3~4月



クリンソウ 4~5月



シライトソウ 4~5月



ユキザサ 4月



ヤマトグサ 4月

牧野博士
命名種

牧野博士
命名種

牧野博士
命名種

牧野博士
命名種

牧野博士
命名種

春の牧野公園は
サクラも必見!!
※P05参照

6月~8月



Plants of MAKINO PARK
in Summer

園内各所で見られます!



ヤマアジサイ
5~6月



フクリンササユリ
6月



フシグロセンノウ
7~8月



カキラン
6月



キレンゲショウマ
6月下旬~9月



オカラノオ
6月



ナンゴククガイソウ
6月



ワタナベソウ
5~7月



ハマナス
5~9月



ハンカイソウ
5月下旬~6月



ノカンゾウ
7月



キキョウ
7~8月



ウツボグサ
6月



トサヒメユリ
6月中旬~7月上旬



カワラナデシコ
6~7月



ユウスゲ
7月



ヤマユリ
7月



テバコマンテマ
6~8月



タキユリ
7~8月上旬



フウラン
7月



キツネノカミソリ
7月下旬~8月



シナノアキギリ
6~9月



オオキツネノカミソリ
7~8月



ウバユリ
7月下旬~8月上旬



アキノタムラソウ
7~8月



ヒオウギ
7月下旬~8月



ヤブカンゾウ
6月下旬~7月



ヤブミョウガ
7~8月(花)・8~11月(実)



オトギリソウ
7~8月



ムカデラン
7月上旬~中旬



ヒナシャジン
7月下旬~8月



カセンソウ
7~8月



ホソバナヤマハハコ
7~10月



マルバマンネングサ
6月下旬~7月



9月~11月

秋

Plants of MAKINO PARK
in Autumn



キッコウハグマ
10月下旬~12月



スズムシバナ
8~9月



アケボノソウ
10月



ルリミノキ(実)
10~12月



サラシナショウマ
10月



アキチョウジ
8~10月



牧野博士命名種

タニジャコウソウ
9月



牧野博士命名種

ジョウロウホトドギス
9月下旬~10月中旬



ホトドギス
9月下旬~10月上旬



ツルニンジン
9~10月



シモバシラ
9月下旬~10月



ツリフネソウ
9~10月



タイキンギク
11~12月



牧野博士命名種

センブリ
10月下旬~11月



オトコエシ
8~9月



牧野博士命名種

ミソハギ
8~9月



ワレモコウ
9~11月



オミナエシ
7~10月



アサマ lindou
10~11月



牧野博士命名種

マツカゼソウ
8~9月



ウメバチソウ
9~10月



カリガネソウ
8~9月



スダレギボウシ
8月下旬~9月



ヒメノボタン
9~10月



牧野博士命名種

タムムラサキ
10~11月



牧野博士命名種

オオクサボタン
9~10月



園内各所で見られます!



キバナアキギリ
9~10月



サワフジバカマ
10~11月上旬



シマカンギク
11~12月



シラヤマギク
9~10月



シロヨメナ
9~11月



牧野博士命名種

ノゾギク
11月



牧野博士命名種

ヨシノアザミ
10~12月



牧野博士命名種

ヒヨドリバナ
9~10月

12月~2月 2月~3月

冬 早春

Plants of MAKINO PARK
in Winter & Early Spring

園内各所で見られます!



■ は冬の
■ は早春の
山野草だよ!

ヒメイワギボウシ	8~9月	サワギキョウ	9~10月	ホタルブクロ	6~7月	キツリフネ	5月下旬~6月
ヒメノボタン	9~10月	サラシナショウマ	10月	マルバマンネングサ	6月下旬~7月	キバナノセッコク	7~8月
ヒメヒゴタイ	9~10月	サワヒヨドリ	9~10月	ミシマサイコ	7~9月	キヒメユリ	6月
ヒヨドリバナ	9~10月	サワフジバカマ	10~11月上旬	ムカデラン	7月上旬~中旬	キレンゲショウマ	6月下旬~9月
フジバカマ	9~10月	シマカンギク	11~12月	ムラサキ	5~7月	キンバイザサ	6~9月
ホオズキ(花・実)	7月~10月	シモバシラ	9月下旬~10月(氷柱:12~1月)	ムラサキニガナ	6~7月	クチナシ	6月(実:11~12月)
ホトトギス	9月下旬~10月上旬	シュウメイギク	10月	ヤブカンゾウ	6月下旬~7月	クモラン	6~7月
マツカゼソウ	8~9月	ジョウロウホトトギス	9月下旬~10月中旬	ヤブミョウガ	7~9月(実:8~11月)	ケイビラン	6~7月
マユミ(実)	11~12月	シラネセンキュウ	9~10月	ヤブレガサ	6~7月	コオニユリ	7月
ミズギボウシ	8~9月	シラヤマギク	9~10月	ヤマアジサイ	5~6月	コキンバイザサ	5~6月
ミスヒキ	9~10月	シロバナマンジュシャゲ	9月	ヤマニガナ	7~9月	コクチナシ	6~7月
ミソハギ	8~9月	シロバナリンドウ	10~11月	ヤマボウシ	5~6月	コ克蘭	6~7月
ムラサキエノコロ	9~10月	シロヨメナ	9~11月	ヤマユリ	7月	コバギボウシ	8月
ムラサキセンブリ	11月	ジンジソウ	10~11月	ヤマワキオゴケ	5~6月	シコクフウロ	7~9月
ヤクシソウ	10~11月	スズムシバナ	8~9月	ユウスゲ	7月	シタキソウ	6月(実:9~12月)
ヤツデ	11~12月	スダレギボウシ	8月下旬~9月	ワタナベソウ	5~7月	シナノアキギリ	6~9月
ヤナギタンポポ	9~10月	センニンソウ	8月中旬~9月			セイヨウアジサイ	6月
ヤナギノギク	10~11月	センブリ	10月下旬~11月	秋	<i>Autumn</i>	ダイコンソウ	7~9月
ヤマジノホトトギス	8~9月	タイキンギク	11~12月	アキギリ	10月	タキユリ	7~8月上旬
ヤマジャクヤク&ベニバナヤマジャクヤク(実)	8~10月	タニジャコウソウ	9月(氷柱:12~1月)	アキショウジ	8~10月	ツルアジサイ	6~7月
ヤマラッキョウ	10~11月	タマムラサキ	10~11月	アキノキリンソウ	10~12月	テイカカズラ	5~6月
ユキノシタ	5~6月	ツクシサボタン	9月下旬~10月(種:11~12月)	アキノゲシ	9~10月	テバコマンテマ	6~8月
ヨシノアザミ	10~12月	ツクシハギ	9~10月	アケボノソウ	10月	ドクダミ	5~6月
ヨメナ	9~10月	ツメレンゲ	10~11月	アサマリンドウ	10~11月	トサヒメユリ	6月中旬~7月上旬
リンドウ	10~11月	ツリガネニンジン	8~10月	イヌタデ	9~11月	トモエソウ	6~7月
ルリミノキ(実)	10~12月(花:5~6月)	ツリフネソウ	9~10月	ウメバチソウ	9~10月	ナツツバキ	6~7月
ワレモコウ	9~11月	ツルニンジン	9~10月	オオクサボタン	10月(種:11~12月)	ナンゴククガイソウ	6月
		ツルリンドウ	9~10月(実:11~12月)	オオバショウマ	9月下旬~10月中旬	ヌマトラノオ	7~8月
冬	<i>Winter</i>	ツワブキ	10~11月	オトコエシ	8~9月	ノカンゾウ	7月
スイセン	1~2月	テンニンソウ	10月	オミナエシ	7~10月	ノリウツギ	7~9月
センリョウ(実)	11~2月	ナガバノヤネグサ	9~10月	カラスノゴマ	9月	ハガクレツリフネ	9~10月
ナンテン(実)	11~12月	ナギナタコウジュ	10~11月	カリガネソウ	8~9月	ハマナス	5~9月
フユイチゴ(実)	10~1月	ナンカイギボウシ	8月下旬~9月	カワチブシ	9~10月	ハマナデシコ	10~12月
マンリョウ(実)	11~2月	ナンバンギセル	9~10月	キセワタ	8~9月	ハンカイソウ	5月下旬~6月
ヤブコウジ(実)	11~1月	ヌスビトハギ	8月下旬~9月	キッコウハグマ(花・種)	10月下旬~12月	ハンゲショウ	6~7月
ヤブツバキ	1~4月	ヌマダイコン	9~10月	キバナアキギリ	9~10月	ヒオウギ	7月下旬~8月
ヤブムラサキ(実)	11~12月	ネコハギ	8月下旬~9月	キバナノホトトギス	9月下旬~10月上旬	ヒナシャジン	7月下旬~8月
ユキモチソウ(実)	11~12月	ノコンギク	8~10月	キンミズヒキ	8~9月	ヒメヤブラン	7~9月(実:11~2月)
		ノジギク	11月	キンモクセイ	9~10月	フウラン	7月
早春	<i>Early Spring</i>	ノシラン	8~9月	ゲンノショウコ	8~10月	フクリンササユリ	6月
バイカオウレン	1~3月	ノダケ	9~10月	コウヤボウキ	10~11月	フシグロセンノウ	7~8月
セツブンソウ	2~3月	バクチノキ	9月	コバナガズミ(実)	10~12月(花:4月)	フナバラソウ	6月
セリバオウレン	2~3月	ハダカホオズキ	9~11月	サザンカ	10~12月	ヘクソカズラ	8~9月
フクジュソウ	2~3月	ハナタデ	9~10月	サネカズラ(実)	11月	ボウラン	6~7月
ユキワリイチゲ	2~3月	ヒガンバナ	9月	サツマノギク	11~12月	ホソバナヤマハハコ	7~10月

Botanical List

MAKINO PARK

牧野公園植物リスト

牧野公園では、自生・植栽を含め500種類以上の植物を楽しむことができ、四季折々に色々な表情を見せてくれます。ここでは、そんな中から選んだ約300種類の植物をご紹介します。

※花期は多少異なる場合があります。

			春		<i>Spring</i>
マムシグサ	4月	タチツボスミレ	3~4月	コガクウツギ	5月
マルバウツギ	5月	タチバナ	5~6月	コショウノキ	2~3月
ミツバテンナンショウ	4月	タツナミソウ	4~5月	コチャルメルソウ	3月下旬~4月
ミツマタ	3月	ツゲ	3~4月	コバナガズミ	4月
ムサシアブミ	3~5月	ツボスミレ(別名:ニヨイスミレ)	4~5月	コバナミツバツツジ	3月中旬~4月
ムラサキケマン	4月	ドウダンツツジ	4月	コバナタツナミ	4~5月
ムラサキサギゴケ	3~5月	トキワバイカツツジ	4月	サイハイラン	5月
ヤチマタイカリソウ	4月	トサノミツバツツジ	4月	コンロンソウ	4~5月
ヤマシャクヤク	4月	トサミズキ	3月	ザイフリボク	4~5月
ヤマトグサ	4月	ナニワイバラ	5月	サクラセンダン	5月
ヤマブキ	4月	ナンジャモンジャ	4月下旬~5月	サカワサイシン	4~6月
ヤマブキソウ	4~5月	ニガナ	5月	サクラツツジ	4月
ヤマルリソウ	3~4月	ニリンソウ	4月	サクラソウ	4月
ユキザサ	4月	バイカイカリソウ	4~5月	サワオグルマ	4~5月
ユキモチソウ	4月	ハシリドコロ	3月下旬~4月	サワフタギ	5月
ラショウモンカズラ	4~5月	ハナイカダ	4~6月(実:7~8月)	サワギク	5月
		ハナミョウガ	5~6月(実:12~1月)	シコクチャルメルソウ	3~4月
夏	<i>Summer</i>	ハルトラノオ	3~4月	シコクハタザオ	4~5月
アキノタムラソウ	7~8月	ハルリンドウ	3~4月	シコクハンショウヅル	5~6月
アワモリショウマ	5~7月	ヒカゲツツジ	4~5月	シハイスミレ	3~4月
イワタバコ	7~8月	ヒゴスミレ	3~4月	シャガ	4月
ウツボグサ	6月	ヒトリシズカ	3~4月	シャクナゲ	4~5月
ウバユリ	7月下旬~8月上旬	ヒメシャラ	5月	シュンラン	4月
オウゴンオニユリ	7月	ヒメハギ	4~5月	ショウジョウバカマ	4月
オオキツネノカミソリ	7~8月	ヒメフウロ	5~6月	シライトソウ	4~5月
オオハンゲ	5~8月	ヒラドツツジ	4月	シラン	5月
オカトラノオ	6月	フウロケマン	3~4月	シロバナサギゴケ	3~5月
オタカラコウ	7~9月	フジ	4月下旬~5月(実:10~12月)	ジロポウエンゴサク	3~4月
オトギリソウ	7~8月	フジツツジ	4月	シロヤマブキ	4月
オニユリ	7月	フタバアオイ	4~5月	シンジュギク	4~5月
カキラン	6月	フタリシズカ	4~5月	スイカズラ	5月
カセンソウ	7~8月	ベニバナヤマシャクヤク	5月	スミレ	3~4月
カワラナデシコ	6~7月	ホウチャクソウ	4~5月	セッコク	5~6月
キキョウ	7~8月	ホシケイラン	5月	セントウソウ	2~4月
キツネノカミソリ	7月下旬~8月	ホタルカズラ	4月下旬~5月	タカネエビネ	4月
				クリンソウ	4~5月

佐川町指定文化財

佐川城跡 (さかわじょうせき)

牧野公園のあるこの山は、「古城山(こじょうざん)」と呼ばれており、山頂付近一帯が佐川城跡です。

佐川城は、戦国時代に土佐を中心として四国へ勢力を伸ばした長宗我部氏が高吾北地域(高岡郡北部)を勢力下に置いた頃の城で、長宗我部氏の重臣・久武内蔵助(くらのすけ)が佐川近隣の支配の要として、さらに伊予松山方面に対しての押さえの城として重要な場所でした。

江戸時代になると、佐川は土佐藩筆頭家老・深尾氏の領地となり、佐川城も領主・深尾氏の城となりますが、幕府が出した元和(げんな)の一国一城令により、土佐の国では高知城一城のみとなり佐川城は廃城となります。

公園内をよく見ると土塁や堀切(ほりきり)跡、堅堀(たてぼり)跡など、かつての城の名残を確認できます。



佐川城跡の石垣

牧野公園はなもりC-LOVE

牧野公園は「みんなで育てる公園」として地域住民が大切に管理をしています。中でも中心的な役割を担うのが「牧野公園はなもりC-LOVE」。牧野富太郎博士生誕150周年を契機に活動がはじまり、2014年に発足しました。山野草を種から育てることからスタートし、除草や植栽、苗の育成などの活動により、牧野博士ゆかりの植物をはじめとする、四季折々の山野草が楽しめる公園づくりをしています。いまでは300種を超える山野草が四季を通して楽しむことができ、多くの方々が何度も訪れてくれる公園となりました。

「はなもりC-LOVE」のモットーは“楽しみながら”自由に参加できること。気軽な気持ちから、熱い思いまで、全て受け入れて「まじめに、おもしろく」活動中です。



「まちまるごと」が植物園になりました。



牧野富太郎先生、ふるさと佐川町は

町民みんなで「育てる」を楽しむ。



まちまるごと植物園とは

植物学者 牧野富太郎博士のふるさと佐川町で、個人のお庭や地域の花壇、貴重な山野草の自生地など町全体を植物園に見立てて、植物を通じて人々がつながりあう“植物のまち”を目指した取り組みです。